

# 認定専攻科修了見込み者に対する 新たな審査方式の内容と考え方

---

## 大学評価・学位授与機構

2014（平成26）年1月24日 一橋講堂  
「認定専攻科修了見込み者に対する新たな審査方式」に係る説明会

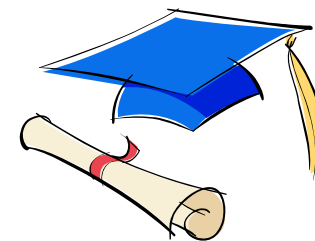
**（注）この資料で使用している用語その他表現については、現行の審査方式との関係等をより分かり易くするため、今後、変更を加える場合があります。**

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

---

## 構成

1. 「新たな審査方式」構想の背景
2. 機構の学士の学位授与制度  
－ 現行の審査方式と新たな審査方式
3. 「新たな審査方式」の内容と考え方



# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」構想の背景

---

## 中央教育審議会答申

### 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(平成23年1月31日)

#### 第4章 高等教育におけるキャリア教育・職業教育の充実方策

##### 3. 高等教育における職業教育の充実

##### (2) 各高等教育機関における推進のポイント

##### ②高等専門学校

「さらに、現在、本科卒業後、大学評価・学位授与機構が認定した専攻科において所定の単位を修得した者で、大学評価・学位授与機構の審査を経て合格と判定された者に学士の学位が授与されているが、学生の能力をよりの確に把握するとともに、専攻科における学生の主体的な学習活動を一層充実させる観点から、当該専攻科における学修の成果に基づいて円滑な学位の審査と授与が行われるよう、運用の改善を図ることが望まれる。」 (p.78)

→「円滑な学位の審査と授与」に向けて運用の改善が急務

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」構想の背景

---

## 課題

円滑な学位の審査及び授与を行うとともに  
現行の審査方式の下に授与される学士の学位と同等の  
学位の質をどのように担保するか

## 現行の審査方式

- 修得単位の審査
- 学修成果・試験の審査

修得単位の審査及び学修成果・試験の審査により  
高等教育段階における多様な学習の成果を評価し、  
「大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認める者」  
に該当するかを審査

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

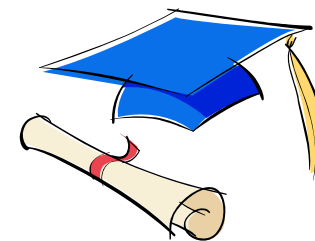
---

## 構成

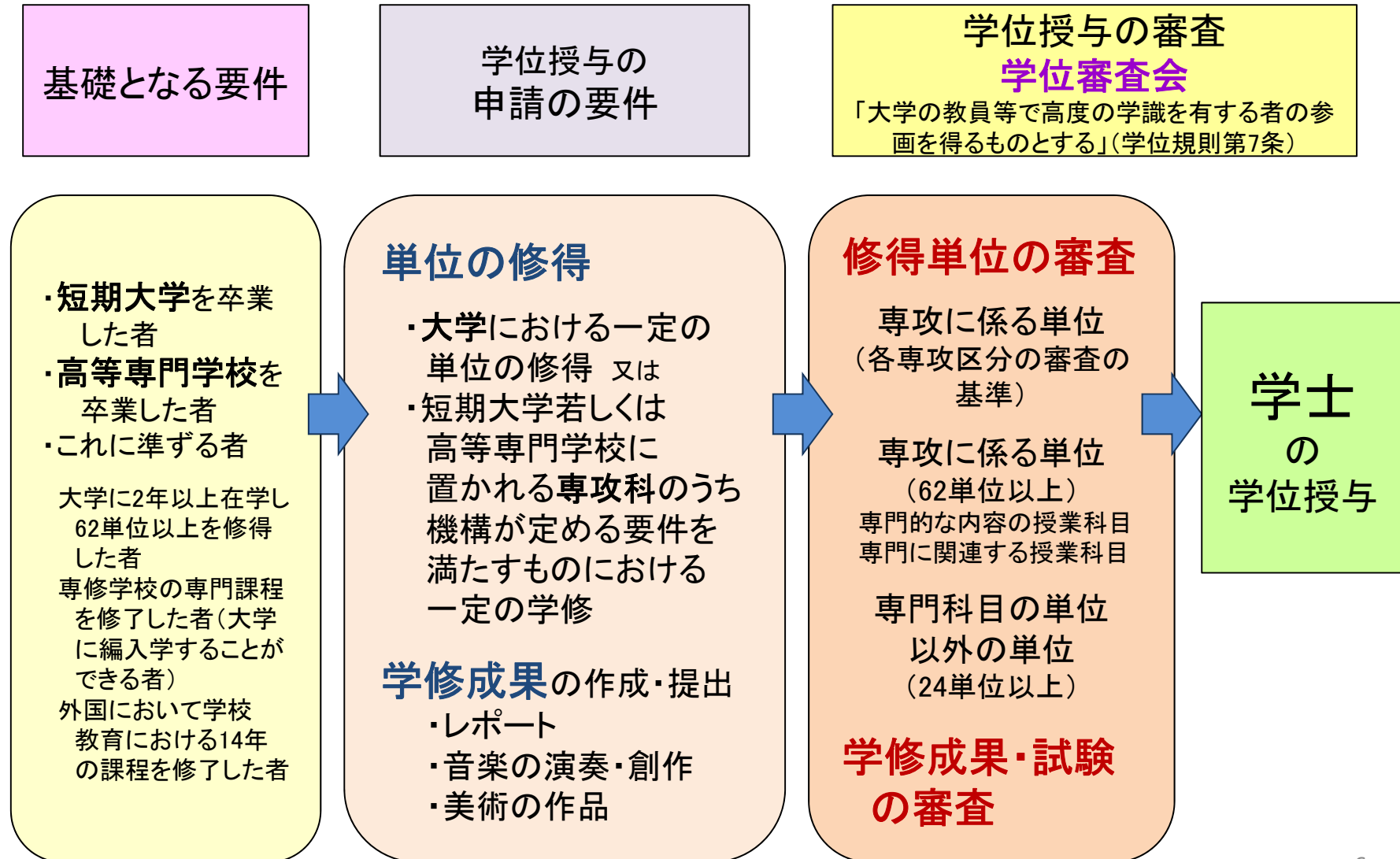
### 1. 「新たな審査方式」構想の背景

### 2. 機構の学士の学位授与制度 － 現行の審査方式と新たな審査方式

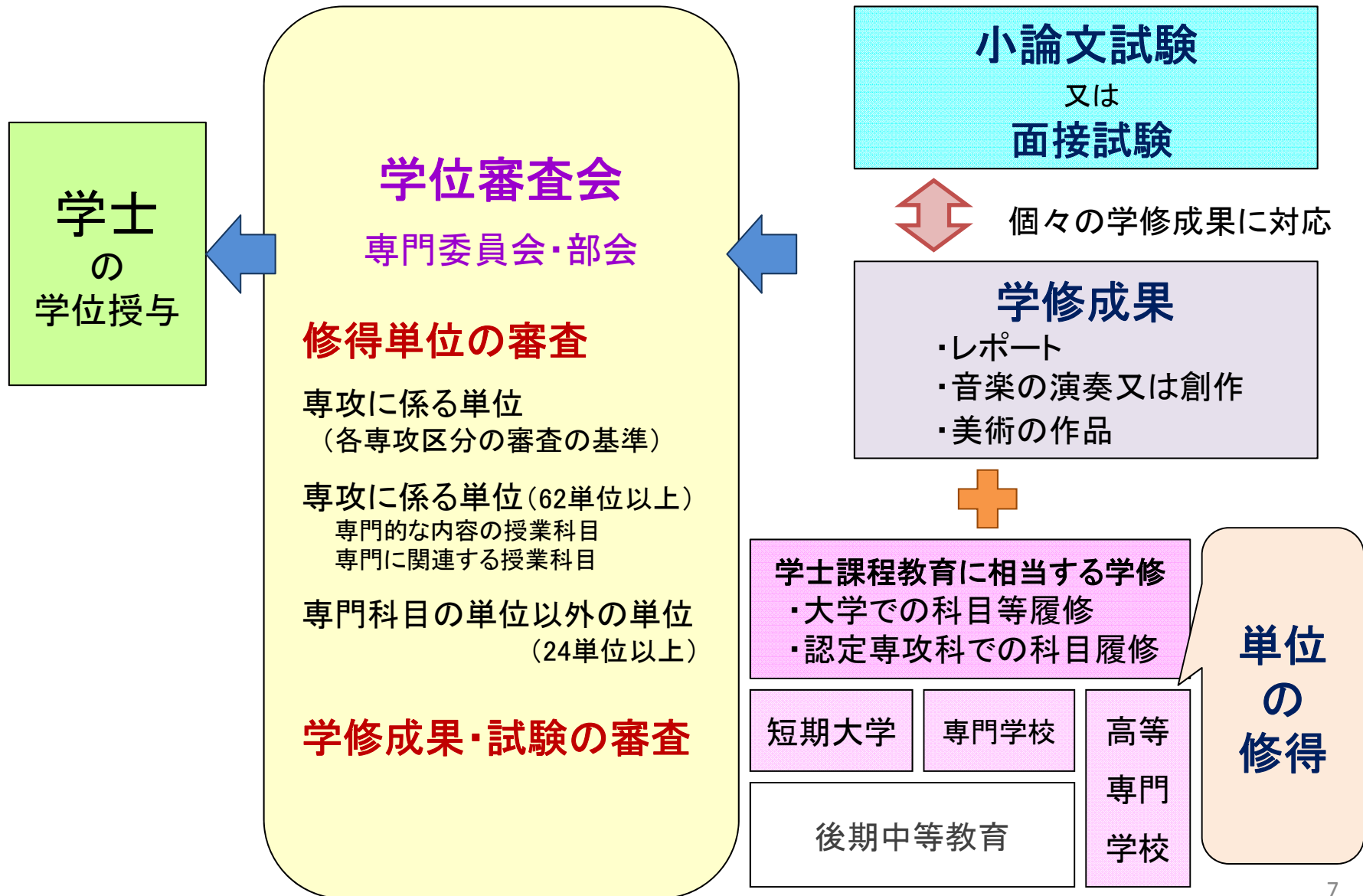
### 3. 「新たな審査方式」の内容と考え方



# 単位積み上げ型の学士の学位授与 現行の審査方式による学位授与の流れ



# 単位積み上げ型の学士の学位授与 現行の審査方式



# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 機構の学士の学位授与制度（現行の審査方式）

## 大学の目的

大学

学士

学士課程

- ・ 大学は、**学術の中心**として、**広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させる**ことを目的とする。

- ・ 大学は、当該大学、学部及び学科又は課程等の教育上の目的を達成するために**必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成**するものとする。

- ・ 教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る**専門の学芸**を教授するとともに、**幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養**するよう適切に配慮しなければならない。



# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 機構の学士の学位授与制度（現行の審査方式）

## 短期大学・高等専門学校の目的

### 短期大学・ 高等専門学校

専攻科

短期大学士  
準学士

学科

- ・大学（短期大学）は、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成することを主な目的とすることができる。

- ・高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

- ・専攻科は、（…）精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とし、その修業年限は、1年以上とする。

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与機構の学士の学位授与制度（現行の審査方式）

## 現行の審査方式

大学  
学士

大学評価・  
学位授与機構  
学士

短期大学・  
高等専門学校

- 修得単位の審査
- 学修成果・試験の審査

大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認める者

体系的  
教育課程

- ・ 専門学芸
- ・ 教養
- ・ 総合的  
判断力
- ・ 人間性

(教育課程)

修得単位の  
審査の  
基準

認定  
専攻科

学科

## 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 機構の学士の学位授与制度（新たな審査方式）

---

### 高等教育段階で「各専攻分野を通じて培う学士力」(2008)

- 知識や技能を活用して複雑な事柄を問題として理解し、答えのない問題に解を見出していくための批判的、合理的な思考力をはじめとする認知的能力
- 人間としての自らの責務を果たし、他者に配慮しながらチームワークやリーダーシップを発揮して社会的責任を担いうる、倫理的、社会的能力
- 総合的かつ持続的な学修経験に基づく創造力と構想力
- 想定外の困難に際して的確な判断をするための基礎となる教養、知識、経験
- 生涯にわたって学び続ける力、主体的に考える力

⇒ **学修成果**（learning outcomes）への着目

多様な高等教育機関での学修と「**学士**」としての**共通の力**に関する議論

- 高等教育資格枠組み（Framework for Qualifications of the European Higher Education Area, QF-EHEA）
- “The Degree Qualifications Profile” (2011)

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 機構の学士の学位授与制度（新たな審査方式）

## 新たな審査方式

大学  
学士

大学評価・  
学位授与機構  
学士

短期大学・  
高等専門学校

- 修得単位の審査
- 「学修総まとめ科目」の履修に係る審査

「学修総まとめ科目」  
に係る  
・専攻科の認定と審査  
・教育の実施状況等  
の審査

体系的  
教育課程

- ・専門学芸
- ・教養
- ・総合的  
判断力
- ・人間性

(教育課程)

修得単位の  
審査の基準

「学修総ま  
とめ」科目  
の単位

認定専攻科  
での学修

学修総まとめ  
科目

認定  
専攻科

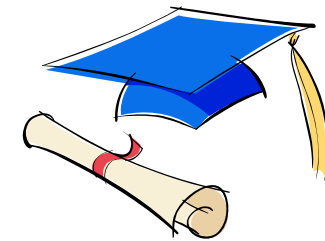
学科

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

---

## 構成

1. 「新たな審査方式」構想の背景
2. 機構の学士の学位授与制度  
－ 現行の審査方式と新たな審査方式
3. 「新たな審査方式」の内容と考え方



# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

---

## 対象者

- **認定専攻科修了見込み者に限定**  
(機構により新たな審査方式の適用に係る認定を受けた専攻科を、修了見込みで申請する資格を有する者)
- 前提として、新たな審査方式の適用を希望する  
**専攻科**を機構が**審査**し**認定**  
(申出要件：現行の審査方式で一定の実績を有する認定専攻科)
- ⇒ 新たな審査方式の適用に係る認定を受けた  
専攻科の在学者は、**新たな審査方式**に申請

機構は、新たな審査方式の適用に係る認定を受けた専攻科の在学者が当該専攻科を修了し、新たな審査方式により機構の行う審査に合格した者に対し、学士の学位を授与する。

※ 他の申請者に対して、現行の審査方式は継続する。

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

---

## 新たな審査方式

次の3点を新たに課すことにより、  
現行の審査方式の下に授与される学士の学位と同等の  
学位の質を担保する。

1. **修得単位の審査の新たな基準**
2. **「学修総まとめ科目」の履修**
3. **「学修総まとめ科目履修計画書」及び  
「成果の要旨」等の提出**

※ 学位審査会（5月14日、8月23日）において委員に説明  
委員からの意見をふまえてさらに検討、修正を加えた改訂案を  
学位審査会（11月8日）において了承

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

---

## 要件

### 1. 修得単位の審査の新たな基準

- 短期大学、高等専門学校卒業後に修得すべき  
積み上げ単位をすべて認定専攻科で修得
- 認定専攻科で修得すべき  
「専攻に係る単位」修得要件の新基準

## 新基準

- ＜短期大学・高等専門学校の学科2年＋専攻科2年の場合＞  
専門科目31単位以上、かつ専門科目＋関連科目で40単位以上
- ＜短期大学の学科3年＋専攻科1年の場合＞  
専門科目16単位以上、かつ専門科目＋関連科目で20単位以上



# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

(前頁からの続き)

## 1. 修得単位の審査の新たな基準

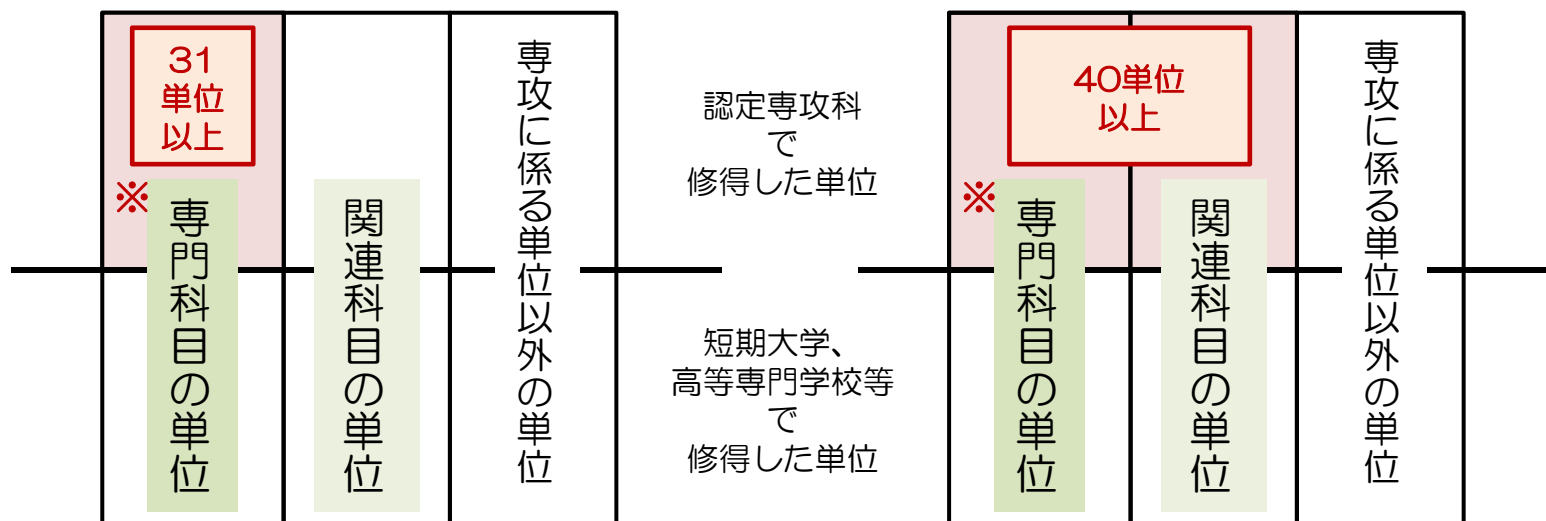
➤ 積み上げ単位をすべて認定専攻科で修得すること

＜短期大学・高等専門学校等の学科2年＋専攻科2年の場合＞

専門科目31単位以上

かつ

専門科目＋関連科目で40単位以上



※「学修総まとめ科目」の単位を含めることができる。

※「学修総まとめ科目」の単位を含めない。

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

(前頁からの続き)

## 1. 修得単位の審査の新たな基準

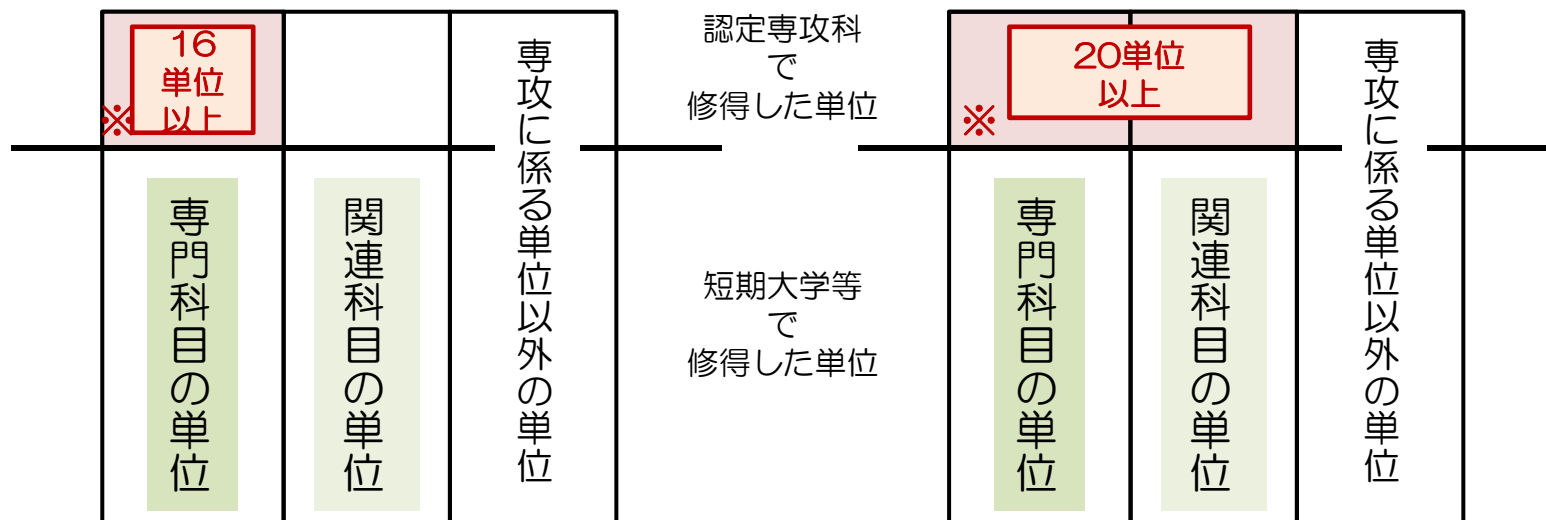
➤ 積み上げ単位をすべて認定専攻科で修得すること

＜短期大学の学科3年＋専攻科1年の場合＞

専門科目16単位以上

かつ

専門科目＋関連科目で20単位以上



※「学修総まとめ科目」の単位を含めることができる。

※「学修総まとめ科目」の単位を含めない。

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

---

## 要件

### 2. 「学修総まとめ科目」の履修

- 学士課程教育に相当する4年間の学修を総括するための科目として「学修総まとめ科目」の履修と単位修得
- 前提：認定専攻科がその教育課程の最終年次に設定する「学修総まとめ科目」を機構が審査し認定
- 学位審査会（専門委員会）による「学修総まとめ科目」の審査と認定
  - ・ 授業科目の内容
  - ・ 成績評価の基準と方法
  - ・ 担当教員の資格
- 「学修総まとめ科目」の単位修得の要件
  - 専攻に係るテーマの学修・探究を行い、「成果」を作成
  - 論文 又は 芸術作品（演奏・創作又は作品）

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

---

## 要件

### 3. 「学修総まとめ科目履修計画書」及び 「成果の要旨」等の提出

#### ➤ 「学修総まとめ科目」履修の申告と成果の実証

##### ○ 「学修総まとめ科目履修計画書」 (申請時に提出)

- ・ 「学修総まとめ科目」で自ら取り組むテーマと、学修・探究の内容 (計画)
- ・ テーマに関する学修・探究を進める上で基盤となる4年間の学修全体の省察
- ・ A4判用紙2枚に2,400～3,000字程度

##### ○ 「成果の要旨」等 (認定専攻科修了確定時に提出)

###### 「成果の要旨」

- ・ 学修・探究の成果を論文とする場合 (A4判用紙2枚に2,400～3,000字程度)

###### 「成果の説明書」及び「成果の録画メディアないし映像作品 (DVD-R) 」

- ・ 学修・探究の成果を芸術作品とする場合 (A4判用紙1枚に1,600字程度)

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 「新たな審査方式」の内容と考え方

(前頁からの続き)

## 3. 「学修総まとめ科目履修計画書」及び「成果の要旨」等の提出

○学位審査会（専門委員会）による審査

「学修総まとめ科目履修計画書」（申請受け付け後）

「成果の要旨」等（認定専攻科修了確定後）

但し、申請者個々人の学位授与の可否を決定するものではない。

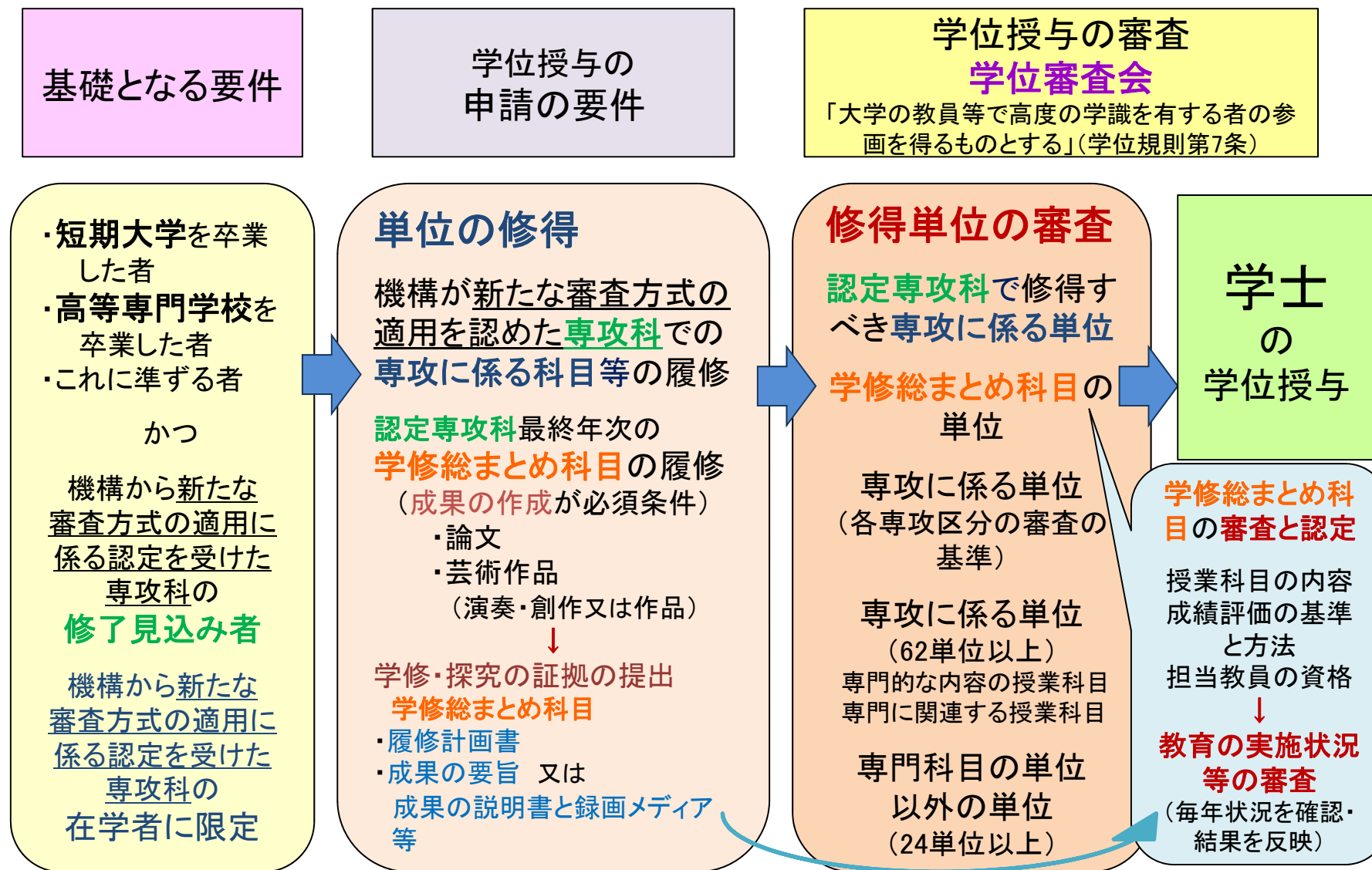
「学生の能力をよりの確に把握するとともに、**専攻科における学生の主体的な学習活動を一層充実させる観点から、当該専攻科における学修の成果に基づいて円滑な学位の審査と授与が行われるよう、運用の改善を図る**」（中央教育審議会答申）

- ・毎年、申請者の提出書類により学修の成果を確認
- ・認定専攻科が提出する「学修総まとめ科目」の成績評価と合わせて確認
- ・「学修総まとめ科目」にかかわる審査の結果を蓄積

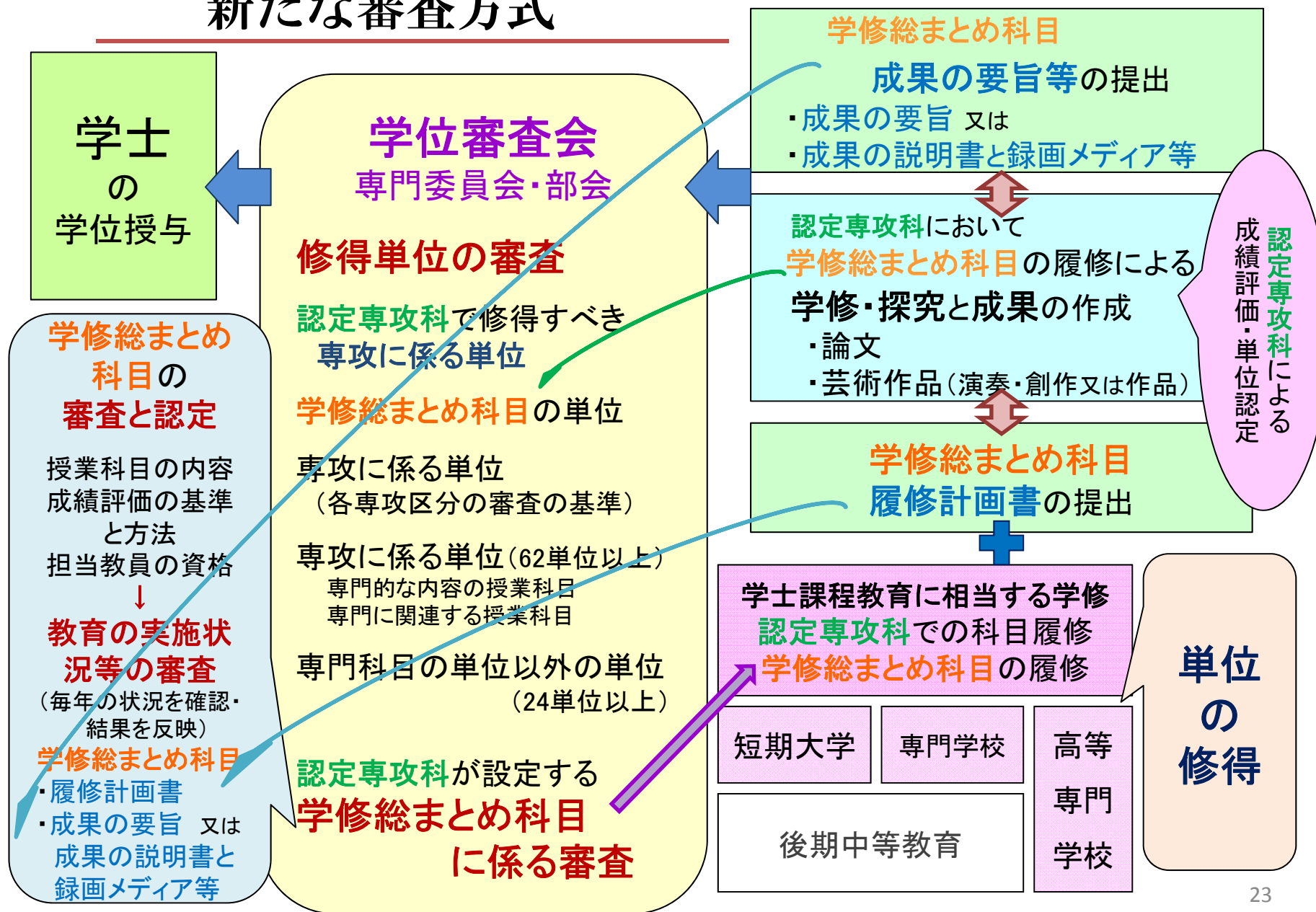


**認定専攻科における教育の実施状況等の審査**に反映

# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 新たな審査方式による学位授与の流れ



# 認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 新たな審査方式





ご清聴ありがとうございます。

